

ほんべつ 議会だより

No.79

平成28年11月15日発行



秋空のもと元気に強歩大会

本別中学校強歩大会（池田町高島～本別中学校）

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会

北海道中川郡本別町北2丁目4番地1

TEL 0156-22-8123

FAX 0156-22-2147



第3回定例会

台風被害対応の補正予算のほか、保育料の一部改正など全22議案を可決

平成28年第3回定例会は9月6日に開会し、一般質問のほか、台風による災害対応等にかかる補正予算、また、保育料の改正（平成29年4月1日施行）などの審議を行い全て可決しました。審議された内容は次のとおりです。
※台風関連については、4頁に掲載いたします。

条例改正

保育所及び幼稚園の利用者負担を軽減するための条例改正

現在本町では、第3子以下の保育料無償化などの軽減措置を行っていますが、さらに、子育て世帯の負担の軽減、子育てしやすい環境を整えるために、保育料を所得に応じた階層区分を細分化するなど、現行の保育料を全面見直しする提案がされました。この改正は、認定こども園が開設する平成29年4月1日から適用されます。各認定区分における改正後の階層数及び1ヶ月当たりの軽減額幅は次のとおりです。

区分	現行の階層数
教育標準時間認定(幼稚園)	5階層
保育標準時間認定 (保護者の就労時間が月120時間以上)	3歳未満
	3歳以上
保育短時間認定 (保護者の就労時間が月64時間以上120時間未満)	3歳未満
	3歳以上
へき地保育所	2歳児 3歳以上

改正後の階層数	1ヶ月当たりの軽減額幅
11階層	600円～5,900円
21階層	1,900円～21,700円 100円～17,400円
21階層	2,000円～22,000円
	200円～17,600円
9階層	2,700円～6,500円 2,000円～6,600円

平成29年4月1日より適用

一般会計補正

コンプライアンス研修とは

収納業務不適切処理に関する再発防止策として、コンプライアンス（法令遵守）研修とある

策として、臨時職員以上の全職員としての道徳、倫理を含めた内容となつており、資質向上を図りたいと考えています。

答

臨時職員以上の全職員としての道徳、倫理を含めた内容となつており、資質向上を図りたいと考えています。

緊急通報装置の購入

①緊急通報装置の更新とあるが、設置対象者の要件は、②新しい装置の特徴は、



更新される新型緊急通報装置

介護保険事業特別会計補正

介護従事者就業支援等補助金

介護福祉士の人材支援等補助金の内容は、

答

介護従事者就業支援等補助金の内容は、不足に対し、介護職場における人材の確保・育成・定着を推進するために創設しました。

支給要件は、平成28年4月1日以降、新たに町内の

24時間いつでも、携帯電話等で安否確認ができる機能のほか、ボタンを押すと携帯電話等にメールが届く「挨拶ボタン」という機能などが付いています。



平成28年度各会計補正予算

会計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一般会計	(541万2千円)	経営体育成支援事業補助金 (臨時会)
	(1億4,327万円) 69億6,753万2千円	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧事業調査設計及び応急工事 ・とかち東北部広域連携事業 ・緊急通報装置、介護ロボット等導入支援特別事業 ・北海道6次産業化トライアル事業 (定例会)
特別会計	(8,451万円) 14億2,457万1千円	保険給付費支払準備金 (定例会)
	(8千円) 1億1,498万6千円	決算確定による繰越金精算 (定例会)
	(2,455万7千円) 9億6,961万9千円	<ul style="list-style-type: none"> ・決算確定による繰越金精算 ・介護従事者就業支援等補助金 (定例会)
	(15万円) 2億7,365万9千円	公用車修繕 (定例会)
	(96万6千円) 1億4,568万9千円	勇足増圧ポンプ場及び勇足浄水場機器修繕 (定例会)
	(22万8千円) 5億6,754万4千円	決算確定による消費税増 (定例会)
水道事業会計	(250万円) 3億2,193万4千円	水道施設災害復旧事業調査設計費 (定例会)

※第3回臨時会含む

民間障害者福祉施設や介護施設に常勤雇用として就職する介護従事者であることなどの定めがあります。
【補助メニュー一部抜粋】
 ・就業支援補助金（就職支度金）…資格を有する方で支度金一律、一人、10万円。
 ・住宅準備支援補助金（町外者）…住宅準備、引越し費用などにかかる費用のうち限度額25万円。
 ・支度準備補助金…非常勤雇用者に一律5万円。

教育委員会委員に

- ・布施耕一氏 (拓農)
※任期:平成30年10月20日まで
 - ・鈴木清志氏 (向陽町)
※任期:平成31年10月20日まで
- の再任に同意しました。

陳情書
開催日
8月10日

第3回臨時会

平成28年6月定例会において産業厚生常任委員会に付託された「西仙美里自治会内道路の拡幅等を求める陳情」は、方川英一委員長から、道路の状態、車両等の交通量などを調査した結果、特に支障は見受けられていません。この報告がありました。

本年8月で任期満了により、各常任委員会と議会運営委員会の委員改選が、第3回臨時会で行われました。構成は次のとおりです。

陳情書は、同日に採決が行われ、不採択となりました。

常任委員会等の改選

議会運営委員会	広報広聴常任委員会	産業厚生常任委員会	総務常任委員会
委員長 高橋利勝	委員長 藤田直美	委員長 矢部隆之	委員長 大住啓一
副委員長 阿保静夫	副委員長 林高橋	副委員長 小笠原良美	副委員長 篠原義彦
山西三三夫	利勝	利勝	黒山久男・藤田直美
大住啓一・小笠原良美	武・阿保静夫	方川英一	武・阿保静夫

台風7号など、被害額12億500万円

答 340万2千円の増額補正は、鹿柵等を応急的に修繕するものか。

電牧柵1.2kmのほか、材料費も含めた応急的な措置です。鹿柵の復旧は、土砂の流出等で全ての調査はできていませんが、今後早急に調査し、災害復旧事業で対応したいと考えています。



台風で土砂埋没した畠（奥仙美里・拓栄）

鳥獣被害防止総合対策事業

問 提案理由…台風等により土砂の流出・流入・路肩の陥落により町民の生命、財産に危害がおよぶ恐れ、収穫時の交通網の確保、被害拡大を防ぐための応急の復旧事業として、9,329万7千円を計上。

一般会計補正予算(第8回)

【議決日】9月6日

可決

により、本町でも多くの方が被災されました。9月定例会では、災害に対応することを求める意見書などを可決しました。

8月の台風被害に対応する災害復旧事業の補正予算、全て可決

問 調査設計費250万円が計上されていますが、内容は。

農業用施設災害復旧事業

問 提案理由…8月24日以降に新たに発生した災害に対応するため、災害復旧事業調査設計費として、250万円を計上。

一般会計補正予算(第9回)

【議決日】9月14日

可決

に指定すること。
2. 農林水産業関係に甚大な被害が生じ、今後の生産等への影響が懸念されるため被災生産者などへの十分な措置を講じること。
3. 特別交付税による十分な措置を講じることなど強く要望します。

平成28年8月の連続4台風による災害対策に関する意見書

提出者 高橋利勝

【議決日】9月13日
議会運営委員会発議で災害対策に関する意見書が提出され、可決されました。

意見書

答

明渠排水48mのか、法面を修繕するための調査設計です。

場所は、西勇足と負籠の2カ所です。

被害区分	被害内容等	被害額(概算)
町道通行止め	22路線	
河川被害	2箇所	
橋梁被害	1箇所	
町道	93路線、138箇所	
公園施設	・ゴーカート場への土砂流入 ・本別公園内ステージ山側崩壊 ・キャンプ場の駐車場…他	2,200万円
農作物	1,823ha	8億200万円
うち主要作物抜粋	豆類 てん菜 馬鈴薯	(2億7,600万円) (2億2,400万円) (1億4,100万円)
農地の復旧	土砂及び流木の流入	4,200万円
鹿柵の補修・新設	同上	3,700万円
明渠排水施設の復旧	同上	1,700万円
水路・明渠等排水施設	土砂上げ、排水管補修等	500万円

【議決日】9月15日
提案理由…東本別の農地(2.5ha)にかかる農業用施設災害復旧事業として1,500万円を計上。

※内訳…道補助金1,200万円個人負担金300万円

一般会計補正予算(第10回)

【議決日】9月15日

答 来年の営農に向けた資金の調達ができるよう借入れ等も含めて、農協と協議しています。今回の事業による負担金も借り入れの対象とし、利子補給等の支援策を進めていきます。

農業用施設災害復旧事業

問 復旧事業で自己負担が発生した場合、災害資金を長期的に借入れすることはできるか。



被害を受けた大豆畠（東本別）

農業被害による減収に伴い、来年の営農にも影響が出ると考えられます。農業振興基金を活用する考えはいか伺います。

J A本別町との協議も必要

一般質問

6人の議員から9問



台風災害関連

農業被害の金利軽減策に農業振興基金を

答 別な制度の中で利子補給支援などの対策を進めます



山西二三夫議員

山西議員 5月以降の天候不順、8月17日以降の台風7号など、町内全域に大きな被害をもたらしました。

農業被害による減収に伴い、来年の営農にも影響が出ると

考えられます

ので、本年度

の長期資金借入金の金利軽減策として、農業振興基金

を活用する考えはいか伺

います。

農業振興基

金の活用は、

J A本別町と

と思いますが、災害時の農家支援対策こそが最大の農業振興になると考えます。

高橋町長 農作物の品質低下、収量が減少することは間違いない状況です。台風被害も加わり、来年の営農計画に影響が出ることが予想されます。

農業振興基金の活用は、新規就農者への支援、複数戸法人など新しい農業体制作りへの支援など6項目を申し合わせていますので、災害対策については、別な制度の中では農資金対策や利子補給対策など必要な対策を進めていきます。

また、国などで支援できない部分については、J A本別町と協議しながら取り組んでいきます。

台風被害、融資制度創設等町の対応は

答

農家支援はJ Aと協議、防災計画はより強固に

J A本別町と一緒になつて農家負担の軽減、支援ができるかを協議していきます。



阿保静夫議員

阿保議員 8月17日の台風7号に始まり、11号、9号、10号と4つの台風により本町でも、これまでにない被害がありました。本別公園、農地の土砂による埋没などの被害は今までにない惨状でした。畑作物も深刻な被害を受けています。また、市街地での被害もありました。

①畑作物の減収が予想されますが、町として新たな融資制度を行う考えはないか伺います。

②市街地の被害箇所の中に

は、これまでに改善要望された箇所もあつたと聞きます。

防災計画含め、今後の対応など、見解は。



氾濫した柏木川

自主防災組織・要援護者支援活動の強化を

答

大規模災害では大切なので自治会と協議していきます



高橋利勝議員

高橋議員 ①台風7号により7自治会に避難勧告が出されました。道路への濁流、土砂、

流木等の流出のため避難が難

しかったと聞きますが、安全に避難するためには、行政と自治会の連携が必要だと思います。そのためには自主防災組織、要援護者の支援活動が大切だと思いますが、考えを伺います。



軒先まで土砂流入（東町）

福祉避難所の拡充と適切な情報発信について

答

十分に検証し、速やかに対応できるよう検討します



藤田直美議員

藤田議員 災害時要援護者が安心して速やかに避難できるように次のことを伺います。

①障がい児者とその家族の一時避難所として通いなれた福祉施設やプライバシーに配慮したスペースがある施設を開放する考えは。

②乳幼児や就学前児童がいる家族や妊娠婦にも適用した避難所の考えは。

③災害時の情報発信手段としてSNS（ツイッター、フェイスブック、ライン等）を用いた情報発信をしては。

④小学校の災害教育について本別町の取り組みは。



避難所に指定されている中央公民館

②可能な限り有効な避難の対応、プライバシーに配慮した対策を講じていきます。

③SNSは災害時の活用手段として有効と考えられます。

段として有効と考えられます。調査研究を十分にして前向きに検討していきます。

④学習指導要綱に従い進めています。今後も幅広い資料を活用して防災教育を進めていきます。

激甚災害とは

大規模な災害で被害を受けた地方公共団体等に、財政援助など特に必要と認められる場合、激甚災害法に基づいて指定されます。

激甚災害に指定されると、災害復旧事業に対する国の補助率（およそ5～8割）に1～2割程度が上積みされます。

ものしお博士から



矢部議員 今年は春先よりの異常気象により、農作物の収量減と品質低下により農家収入は大幅減が予想されますので、以下二点について伺います。

①今年は春先からの悪天候により播種作業のやり直し、防除作業の遅れ、畑地の滯水などにより大幅な収入減が見込まれますが、作付奨励や営農資材費に対する支援策をJA本別町と協力して実施する考えは。

②台風上陸により畑地の流失、土砂や流木の流入が大規模に発生している地区があります。激甚災害に指定された場合の個人負担に対する考え方。



矢部隆之議員



滞水した豆畠（チエトイ）

天候不順による本町農業への支援策について

答

来年に向けた営農支援はJJAと協力し対応に努めます

高橋町長

①個人の収入減に対する補償は難しいですが、今後の営農に必要な資金の融資における利子補給の実施については、JA本別町と協力して考えてまいります。

②激甚災害の事業説明をしながら、最低限の負担で済むようJAとも十分協議、協力を進めます。



大住啓一議員

災害の対応と防災について

答

対策本部の設置・解散は、柔軟に対応します

大住議員

8月の4つの台風により、本町において多大な被害がありました。台風被害の対応と、防災に対する考え方を伺います。

①災害対策本部の設置基準及び解散基準はどの様になっていますか。

②災害対策本部を設置した時点での職員の勤務体制はどう様になっていますか。

③災害を未然に防ぐためには、道路、河川等の日々の維持管理が重要と認識していますが、考え方。

④災害対策本部の設置、解散は、天候を想定し、4、5日続けても良いのでは。

高橋町長 ①地域防災計画に定められており、町長が必要と認めるときに設置し、町民

生活に障がいとなる状況が解消された時に解散します。

②大雨の場合、3段階に分かれおり、第1段階で、ほとんどの職員が自宅待機の体制となります。

③定期的に管理を行っています。台風の前には準備も含めてパトロールをしています。

④対策本部が機能できるような体制を維持し、気象予報などを見ながら、柔軟で確実な対応をとつてていきます。



防災ガイドマップ、防災計画書



福祉・教育

介護職員初任者研修、本別高校支援につなげ

答 将来選択と高校支援になることを期待しています

阿保議員 介護職員初任者研修に本別高校生7人をはじめ

町内事業所勤務者、一般町民の方など計13人が申し込まれたこと。大きな可能性があると考えます。

以前、本別高校支援に関連し、「福祉でまちづくり」とリンクするような取り組みの考えはないかという趣旨の質問をしました。今後、この取り組みを大いにPRしながら本別高校支援、生徒確保の対策、さらには介護職員不足の解消になるように力を入れ、工夫をしていくべきと考えますが見解を伺います。

高橋町長 今回の初任者研修をはじめ、8月には「福祉セミナー」を開催し、町内の介護職場を知つてもらいました。この取り組みを通して本別高校生の皆さんの将来の選択、



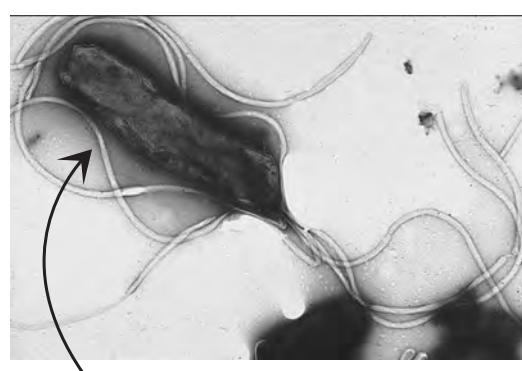
介護職員初任者研修

高橋町長 高校生と60歳以上の方は無料を継続します。

阿保議員 研修受講料の支援は。

本別高校支援にもつながると考えてています。

高橋町長 ①検査の課程においてリスクもあまりからないのであれば、既に実施している市町村の状況を踏まえて慎重に検討していくますが、保護者の理解が必要と考えます。



ヘリコバクター・ピロリ菌

本別町の胃がん予防について

答

中高生のピロリ菌検査は慎重に検討していきます

藤田議員 日本人の胃がんの約98%はピロリ菌が原因とされています。ピロリ菌のほとんどが幼少期に感染していく、なるべく若い時期に除菌治療することで胃がんなどの病気を予防する効果があると考えられています。

中高生の感染率は約5%と言われており、除菌することにより胃がんや、胃や十二指腸の潰瘍になるリスクは大幅に減少することになります。

①中高生を対象にピロリ菌検査を行い、陽性者には早期除菌治療を勧めるべきでは。②町民、または、生徒やPTAの方などに医療講演会を開く考えは。

②医療機関とも連携し適切な保健指導に一層努め、予防対策もしっかりと取り組みます。学校における取り組みに対しては、学校の保健指導の範囲内で行うべきものと考えています。



暮らし

改めて TPP の学習の場・議論の場を 答 そのような状況になつた時は対応します

高橋議員 政府は、9月26日招集予定の臨時国会でTPPの承認を目指していると言われています。改めて本別町としてどう臨むか伺います。

政府が承認を目指しているTPPは依然として不明な点が多く、国民の疑問は解消されていとは言えません。関税撤廃による影響を大きく受ける農業関係者にも不安があると言わわれています。また、消費者からみてもISDS条項により食の安全、環境の保全など国のあら

ゆる法規制をゆるがしかねない懸念があります。改めて、その内容を町民の皆さんに明らかにするためにも、TPPを学ぶ場、議論する場をつくつていくべきでは。

高橋町長 TPP協定によつて起因する看過出来ない事案が生じた場合には、オール北海道・十勝・本別で国や道に適切な対処を求めていきます。現状では、改めて勉強の場、議論の場は考えづらいのですが、十勝、本別の暮らしへとつて重大なことが起きた時には対応していきます。



庁舎前の懸垂幕

ISDS条項とは：博士から
ISDS条項は、投資家対国家間の紛争解決条項で、主に自由貿易協定（FTA）を結んだ国同士において、多国間ににおける企業と政府との賠償を求める紛争の方法を定める条項です。

議長との対話室

9月27日（1人）、10月21日（3人）に議長との対話室が開催され、有害鳥獣捕獲などについて懇談されました。

議会用語の解説

『意見書の取り下げ』

国や道、関係行政庁に対して意見を提出するのが意見書です。提出された意見書について提出者が内容不備など何らかの理由で取り下げたいという場合があります。上程前（議題になる前）で、まだ意見書（案）が議長の手元にある場合は申し出により議長の許可で撤回できます。上程後（議題になつた後）は、すでに提出者の手を離れているので、「会議の議題となつた事件の撤回をしようとするときは、議会の許可を受けなければならない」と規定されています。



10月28日 人の波運動



8月2日 浦幌町議会来町



7月27日 千葉県東金市議会来町

写真で見る議員活動

意見書

意見書

第3回定例会では4件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。※「平成28年8月の連続4台風による災害対策に関する意見書」は4頁に掲載しています。

【要旨掲載】
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1／2への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書

提出者 黒山 久男
可決

高等教育段階における学生等への経済的支援の充実を求める意見書

1. 奨学金の本旨に基き、無利子奨学金を一層充実させること。
2. 高校生を対象とした給付型奨学金制度を拡充するとともに、大学生等を対象とした授業料减免制度の拡充や給付型奨学金制度の創設を図ること。

3. 海外留学、大学院生などへの経済的支援のあり方について、早急に検討を進めること。

提出者 高橋 利勝
可決

林業木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

子どもたちは、住む地域や環境に関係なく平等に教育を受ける権利を有しています。行き届いた教育を保証するために教職員定数の1／2を占め、その多面的機能の発揮が期待されます。

本道は全国の森林面積の1／4を占め、その多面的機能の発揮が期待されます。今後、地域の特性に応じた森林の整備、保全を着実に進めるためには、施策の充実・強化を図ることが必要です。

よつて国においては、森林整備事業及び治山事業は充実・強化を図ることな

どを強く要望します。

提出者 高橋 利勝
可決

て、町長から行政報告がありました。

第3回 定例会

総合的な介護人材確保対策

8月1日から3日間の日程で開催しました「ほんべつ福祉セミナー」には十勝管内の大学・養成校、本別高校生など、計11人が参加し、新たな人材確保やその後の人材育成につなげるきっかけになつたものと考えています。

また、7月26日に開講しました介護職員初任者研修については、本別高校生7人を含め、60歳代の方など計13人が受講されています。研修は全体で28回の講義、演習を本別高校などで開催する予定です。

次に、新たに雇用される介護従事者の方を対象に、就業の継続及び住宅の準備などに係る補助金を交付する「介護従事者就業支援補助金制度」の実施に向け、関係機関等と協議を進めて

きました。関連する補正予算については本定例会に提案しています。

旧仙美里中学校施設等の利活用

仙美里中学校の跡地利活用についての公募結果を報告します。問合せなど7件あります。応募はいずれも町内個人1件、団体1件の2件で、全施設利活用の拡張性を持つ1者を内定しました。

仮契約の相手方につきま

しては、朝日基光氏を代表者とする団体「仙美里プロジェクト」で、主な利活用計画は、首都圏と十勝の若者ネットワーク組織の拠点等となっています。

国の示す基準を基本に、新たな教育・保育の利用者負担額をまとめた結果、利用者負担の軽減額は、年間約1,250万円程度となり、適用期日は平成29年4月の認定こども園の運用開始からとしています。

援事業計画策定時のアンケートにおいて、利用者負担額の軽減について多くのご意見をいただきたこともあります。十勝管内の利用者負担額の現状や先進的な自治体の調査を行いました。

稚園の利用者負担の軽減

本別町子ども・子育て支

行政報告

行政報告

12月定例会は6日から予定しています

私たちの住む町の議会です
どなたでも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか



認定こども園完成予想図

一般会計などの会計の決算を認定

9会計の総支出額は116億5千3百万円、一般会計は前年度比2億7千3百万円減の66億7千1百万円で認定

第3回定期例会で付託された平成27年度各会計決算審査特別委員会（山西委員長他9人※議長・議選監査委員を除く）は9月29日、30日に開催し、各委員から106項目の質疑があり、審査の結果、9会計の決算を認定しました。

再任用職員

答 定年退職をされた方を再雇用（再任用）しているが、再雇用者の人数は。

再任用職員

答 平成27年度の再任用職員は4人です。

公共施設等総合管理計画

問 管理計画の目的と経過は。

答 既存の体育館等の公共施設の資産評価をし、更新年度が重複しないよう平準化し、修繕等で長寿命化を図ることを目的としています。

防災用資機材

問 発電機を購入しているが、停電時の暖房の考え方は。

答 インバーター発電機を24台購入しています。

答 生ごみ、下水道の汚泥や畜産糞ふん尿などの有効利用を含めて検討していますが、具体的な方向性は決まっていません。今後もバイオマスの有効利用を含め協議をしていきます。

バイオマス資源利活用

問 本町のバイオマス資源利活用の方向性は。

ます。非常用発電機のある中央公民館、勇足中学校、本別中学校以外は、購入した発電機を可動させ、ポートブルストーブ等で対応します。



防災用発電機

十勝市町村税滞納整理機構

問 税金などを滞納している方を滞納整理



マイナンバーカード

答 平成28年8月末時点です。

確定申告の電子申告や身分証明書などに使用できます。

マイナンバーカードの発行件数と必要性は。

その都度訪問徴収や納税相談などをいますが、納税相談に応じないなど、誠意の見られない方は滞納整理の見られない方は滞納整理機構にお願いをしています。

答

納期限から20日を超えた場合、督促状を1回発送しますが、完納されない場合は、12月頃に催告書を発送します。また、

①ドクターへりの施設及び勇足元町の施設付近で安全が確保できる場所でも着陸が可能と聞いています。

②事故現場で救急隊員が判断し、釧路市立釧路総合病院へ要請をします。

答 発着地は。

ドクターへり



共栄にあるヘリポート

①共栄の水防拠点施設及び勇足元町の施設付近で安全が確保できる場所でも着陸が可能と聞いています。

②事故現場で救急隊員が判断し、釧路市立釧路総合病院へ要請をします。

決算審査特別委員会

十勝地区里親会

問 本町で里親になら
れている方は何件か。

答 1人の里親世帯が
あり、お子様を1人
お預かりしています。

勤労者貸付金

問 勤労者貸付金の利
用実績は。

答 勤労者向けの融資
制度です。平成27年
度は9件の利用があり、生

問 不妊治療費助成事業

答 本町でも2人目以
降の不妊治療の助成
を行っていますが、国や道
で助成限度額の引き上げや
回数制限の緩和などの措置
が講じられていますので、
動向を踏まえながら検討し
ます。

問 不妊治療費助成事業

答 2人目に対する不
妊治療費助成の対応
は。

狩獵免許取得推進事業

問 平成27年度中に、
くくり罠の資格を取
得した方の人数は。また、
捕獲実績は。

答 新たに4人が取得
しています。また、
シカの捕獲は、全体で22
頭、くくり罠では54頭を
捕獲しています。



設置されたくくり罠

活資金では1.0%以内、
教育資金では0.85%以内
の利率となっています。

答 特に、平成26年度
が苗木不足でしたが、
27年度は大きく緩和された
と考えています。苗の確保
については、関係機関に要
請をし、伐採と植栽を連携
させながら進めています。

答 ②保育所や放課後こども
教室などに、1箱30冊入り
の図書館絵本箱を置いてい
ます。保育所では、3ヶ月
毎に入れ替えをし、幼稚園
は要望に応じて、年1回な
いし2回入れ替えをします。

答 ①部活動の問題は、
少年団から関わるもの
と捉えていますので、少
年団、中学校、高校と協議
をしている段階です。また、
国公立大学への進学、公務
員採用などの実績をP.R.し、
地元高校への進学率の向上
を図っています。

苗木(カラマツ)の確保

問 カラマツの苗木の確
保対策は。

答 勤労者貸付金の利
用実績は。

図書館事業

問 ①購入冊数と貸出
冊数の実績は。

答 新規開業及び新分
野進出では、4事業
者で約773万円。また、
新製品等開発支援では、3
事業者で約62万円を交付し
ています。

起業家支援奨励事
業の実績は。

問 起業家支援奨励事
業の実績は。

答 新規開業及び新分
野進出では、4事業
者で約773万円。また、
新製品等開発支援では、3
事業者で約62万円を交付し
ています。



保育所玄関にある図書館絵本箱

答 ②考える会に約1,90
4万円の補助金を支出して
います。例えば、入学準備
資金で残金が出た場合は、
高校と協議した上で、補助
教材の購入（学力向上支援）
などを行っています。

本別高校

問 ①本別高校に希望
の部活がなく他校へ
に親しんでもらうよう取り
組んでいることは。

答 ①購入冊数は、1,
808冊です。貸出
冊数は、4万5,956冊
で、1日平均148.2冊



本別高校授業風景

答 ②通学費援助、学力向上
支援など7項目の支援策が
あるが、補助金に残金が生
じた場合、新たな支援策を
取り組む考えはないが。

太陽の丘パークゴルフ場

86人です。

専任指導員には、新製品開発に加え、商品の新しい利用などを研究するよう内

太陽の丘パークゴルフ場の有料化を見直すなど、検討する考えは。

行政改革推進委員会のご意見を尊重す

ることが前提ですが、町民ニーズ、町外の動向等を踏まえ、教育委員会でも内部で協議します。

収納業務不適切処理

不適切に処理された15件分の税金は、不納欠損はされている

既に収納処理を行つていますので、不納欠損はしていません。

ゲンキッキン

ゲンキッキンの利用状況など実績と今後の取り組みは。

利用日数で273日、利用者数1,3



指導を受けて製品づくり

総括質疑

臨時職員、代替職員などに多くの賃金を要していると認識しています。決算内容から見て、臨時職員等の職員化を図ることも必要ではないかと見受けられるので、考え方を伺いたい。

答

預貯金や負債等の財産調査、夜間の納税相談など、滞納者への対応強化を図っています。

国保税の不納欠損

不納欠損額が、前年度より約340万円減額しているが、徴収業務の概要などを伺いたい。

国保税の不納欠損

小限度でどう進めるかという視点に立ち、必要な部署には配置しなければならないとを考えています。

代替職員等が若干増える傾向にあります。

いずれにしても、必要最小限度でどう進めるかといふ視点に立ち、必要な部署には配置しなければならぬと考えています。

答

平成11年度から事業を開始し、平成27年度で延べ258基を新設しています。

答

農村部での合併浄化槽の設置数、普及率は。

昨今では特に、介護士など現業職場の人材確保が難しく、募集をしても応募がないことや職務の経験がある方でも代替、パート職員なら働いてもいいという声があることから、代替職員等が若干増える傾向にあります。

今後も制度の周知を図っていく考えです。

答

介護職員不足解消の取り組みとして支援事業を行っています。

公共下水道特別会計

農村部での合併浄化槽の設置数、普及率は。



設置される合併浄化槽

介護保険事業特別会計

決算状況と取り組み内容は。

接遇研修

接遇研修の取り組みは。

国民健康保険病院事業会計

健康長寿のまちづくり会議で、①職員の自己評価の継続、②苦情内容の分析、③先進病院への視察、この3つの指摘事項を、平成27年度に策定しました中長期計画の中に記載しています。

この計画に基づき、接遇研修会の開催など、具体的な取り組みを行うこととしています。



義経教室の会員として参加しましたが、議会の傍聴は今回が初めてという山田富江さんにお話を伺いました。山や自然が大好きと話す山田さんは京都の出身で、NHKで仕事をしていた時に、本別町の花嫁募集ビデオを見たのがきっかけで、ご主人とご縁ができ本別町に来られました。

関係機関の方、役場職員が対応していたことはありますが、まだ詳しく述べました。議会だよりは、「今まで詳しく読んでいたが、傍聴では分からなかつたことが文章になり読み返すことができるので、これを機会にしっかりと読んでみたいです」とも。

また、議会だよりは、「今まで詳しく読んでいたが、傍聴では分からなかつたことが文章になり読み返すことができるので、これを機会にしっかりと読んでみたいです」とも。

本別発・豆ではりきる母さんの会で豆腐作りをしていました。一般質問に付いては「身近な質問が多くつたと思います。災害時の避難などの質問を聞いて、傍聴した感想をお聞きします」と「初めての傍聴で緊張しました」、一般質問に付いては「身近な質問が多くつたと思います。災害時の避難などの質問を聞いて、傍聴した感想をお聞きします」と話していました。

委員長	委員	副委員長	副委員
高橋 阿保	林 藤田	小笠 原	利勝 利静
直美	良美		

議会日誌

[8 月]

- 2日 浦幌町議会視察来町
- 5日 議会運営委員会、収納業務不適切処理に関する調査特別委員会、議員協議会、議員会役員会
- 10日 第3回臨時会、議員会総会、収納業務不適切処理に関する調査特別委員会、収納特別委員会編集会議
- 17日 収納業務不適切処理に関する調査特別委員会、収納特別委員会編集会議
- 21日 議員協議会(災害現地調査)
- 25日 収納特別委員会編集会議
- 26日 十勝町村議会議長研修(新得町)
- 30日 荒川副知事災害状況視察対応、議員協議会



[9 月]

- 2日 議会運営委員会、総務常任委員会懇談会、産業厚生常任委員会懇談会、収納特別委員会編集会議
- 6日 第3回定例会、議員協議会、収納業務不適切処理に関する調査特別委員会、議員会役員会、本別町林活議連役員会
- 7日 産業厚生常任委員会所管事務調査(災害現地調査)
- 9日 議会運営委員会
- 13日 第3回定例会(一般質問)
- 14日 第3回定例会(議案審議、決算提案)、農林水産大臣災害状況視察対応、広報広聴常任委員会
- 15日 第3回定例会(議案審議)、議員協議会
- 17日 自民党農林水産業災害対策W.T.災害状況視察対応
- 26日 総務・産業厚生常任委員会決算審査勉強会
- 29日 平成27年度各会計決算審査特別委員会
- 30日 平成27年度各会計決算審査特別委員会



[10 月]

- 3日 広報広聴常任委員会
- 8日 帯広市本別会(幕別町)
- 24日 広報広聴常任委員会
- 28日 第4回臨時会、人の波運動
- 31日 広報広聴常任委員会、十勝町村議会議員研修会(幕別町)



[11 月]

- 4日 議会運営委員会、議員協議会
- 8日～9日 第60回町村議会議長全国大会(東京都)
- 14日～15日 産業厚生常任委員会行政視察(室蘭市、新ひだか町)



総務
集後記

▼8月に北海道を襲った4つの台風による被害は甚大で、尊い人の命が奪われ、住宅や農地への浸水被害及び道路・橋の崩壊や土砂災害は、過去に経験したことがない規模で起こりました。今なお民生活や地域経済に大きな影響をもたらしています。今までお作付を受けた方、降雨による農作物被害を受けた方が多数おられます。心からお見舞い申し上げます。

▼8月に広報広聴常任委員会も新メンバーとなりました。わかりやすく読みやすい紙面作りを心がけ、多くの町民の皆さんに読んでいただける議会だよりの発行に努めます。2年間どうぞよろしくお願いします。